

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	林道開設事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)	
部等名	産業経済部	課等名	林務課		包含する細々目	1	6	2	2	19	1	36,541	
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり												
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動												
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画条例等		森林・林業基本法、伊那谷地域森林計画					
		事業期間	17	年度～	21	年度							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	林道の未開設の計画路線	補助林道開設計画延長(m)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			4200			
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	林道を開設することにより、間伐等森林整備と保全管理を推進する。	補助林道開設実施延長(累計)	18目標	1893	最終目標	
			18実績		19目標	2093
			23目標	2893	23実績	
			18目標		最終目標	
			18実績		19目標	
		23目標		23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	林道開設工事(補助)を施工することにより、森林整備の推進や木材搬出の輸送力向上を図る。特に搬出間伐を実施するためには森林所有者や素材生産業者の負担軽減やコスト軽減が重要であり、林道は木材搬出路としての基盤である。	補助林道開設工事 事業主体:飯田市 伊藤線(上村) L = 241m 過疎代行(基幹林道)県営開設事業 事業主体:長野県 = 負担なし 千遠線(南信濃) L=173m	開設延長(m)	491
		H19補助林道開設工事 事業主体:飯田市 伊藤線(上村) L = 200m 過疎代行(基幹林道)県営開設事業 事業主体:長野県 = 負担なし 千遠線(南信濃) L=250m	開設延長(m)	450

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定国庫支出金	24,075	18,270
	特定県支出金	2,407	1,827
	起債	31,500	14,700
	その他		
	一般財源	2,170	1,744
事業費計(A)		60,152	36,541
人件費	正規職員所要時間	18年度 300	19年度 300
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	1,073	1,073
	トータルコストA + B	61,225	37,614

特定財源内訳や補足事項	森林環境保全整備事業(水土保全林整備) 国1/2、県0.5/10 起債:一般公共
-------------	---

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	出荷額を高める活動をする	林業生産額(億円)	現状値	7	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	7.5
		経済的自立度(%)	現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標	60	

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
林業生産の向上のため	通行の安全確保や輸送量が円滑になった	市民や森林所有者から要望がある

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 可能 (その理由)
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	飯田市ではH15から当面林道開設計画にかかる実施を凍結していたが、合併による事務事業一元化により継続路線を当分の間実施することとなった。(2村でも現在2路線休止している) 市民要望に応え、工事のコスト縮減を図りながら実施し、効果を上げる。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	開設林道は地質や急勾配など条件が悪い所が多くあり、難工事が多い。

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がある	(2) 必要性な場合の実施事由	2- その他、必要が生じたとき
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	設計の段階で環境に配慮している		

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	